



## 第3回プチ国際理解講座開催



今年度第3回目となるプチ国際理解講座は「パラスポーツ・ボッチャを体験しよう」をテーマに、福島県立須賀川支援学校の村上普子氏（福島県ボッチャ協会）に講義をしていただきました。

### ボッチャについて

ボッチャはヨーロッパで生まれ、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障がいによりボールを投げることができなくても、勾配具（ランプ）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。障がいによりBC1からBC4の4つのクラスに分かれます。

ボッチャは老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人と一緒に競い合えるスポーツです。



白いジャックボール（目標球）と赤・青のボール

村上氏によるパラリンピックとボッチャについての講義



### ボッチャ体験の様子

ボールは  $275\text{g} \pm 12\text{g}$  で、意外と重くずっしりとしています。力加減が難しく、なかなか思ったとおりにいかないこともしばしば。ボッチャには投げ方も色々あり、「ライジング」という勢い良く投げてボールの上に乗せる技に成功した生徒もいました！簡単そうやってみると実は難しいボッチャ。生徒たちは「すごく楽しかった！」と大盛り上がりでした！



### パラリンピックについて

国際パラリンピック委員会は、パラリンピックの象徴であるとし以下の4つの価値を重視しています。

#### 勇気

マイナスの感情に向き合い乗り越えようと思う精神力

#### 強い意志

困難があっても諦めず限界を突破しようとする力

#### インスピレーション

人の心を揺さぶり駆り立てる力

#### 公平

多様性を認め創意工夫をすれば誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

東京パラリンピックは8月24日から9月5日まで開催され、ボッチャの日程は8月28日から9月4日です。前回のリオデジャネイロパラリンピックではボッチャ混合で日本が銀メダルを獲得しました。みんなで東京パラリンピックを応援しましょう！